

### JAM甲信 第26回定期大会

## 郡山りょうを国会に送ろう!!

JAM甲信は2024年9月13日(金)から14日(土)にかけて、千曲市の上山田温泉「ホテル圓山荘」に於いて、JAM甲信第26回定期大会を開催した。

今年度の定期大会は11名の来賓のご臨席の下、代議員・傍聴など総勢141名が出席した。

冒頭、2025年・第27回参議院議員選挙のJAM組織内候補予定者の郡山りょう氏が挨拶に立ち、「昨年5月以降、甲信を始め全国を回らせて頂き、組合員の皆さんから、子育てや将来への不安など、現場の声を聴いてきた。私のキャッチフレーズである『現場の声ではたらくを変えよう』は、会社や仕事だけでなく、日常生活も含めた様々な現場の声をともに、はたらくに関するあらゆることを皆さんと一緒に課題解決していきたいという意味も含んでいる。私は皆さんと同じく、当事者であることが最大の強みである。必勝に向けて来年の7月まで一層のご支援・ご協力をお願いしたい」と決意を述べた。



杉原執行委員長(左)と郡山りょう組織内候補予定者で力強い握手

続いて杉原執行委員長より、「能登半島地震について、その後発生した台湾東部沖地震と共に、カンパの要請に対して、多大なご厚志をお寄せ頂いたこと、またボランティアの派遣に対して、多くの皆さんにご参加を頂きましたことに対して、感謝を申し上げる」「2024年春闘について、甲信において極めて大きな成果を上げることが出来た。ただ物価上昇が続いており、私たちの生活は楽になっていない。これまで以上に、価値を認め合う社会への取り組みを強化し、2025年度以降も粘り強い賃金交渉に取り組もう」「政策実現活動では、2025年・第27回参議院選挙において、何としてでも郡山りょう氏を

国会に送らなければならない。郡山りょう氏は私たちと同じJAMの組合員であり、ものづくりの現場の声を国会に届けることが出来る。引き続きの力強い取り組みをお願いしたい」と挨拶があった。



挨拶を行う杉原執行委員長

大会では、2024年度の活動報告と会計報告等が行われた。議案審議では、第1号議案の「2025年度・活動方針(案)」の提案においては、櫻井書記長は「書記局体制の強化について、単組に寄り添えるスキルの習得に向けて、OJTの強化を図る」と語った。続いて第2号議案：「2025年度予算(案)」、第3号議案：「2025年度政策実現活動に関する件」、第4号議案：「2025年度役員補充に関する件」、第5号議案：「役員表彰に関する件」が提案された。

また、櫻井書記長より、2024年4月より募集した新人オルガナイザーの採用について、小林洋司氏(マルヤス機械労働組合出身)が10月16日付けで入局することについて紹介があり、小林氏より意気込みが述べられた。

大会決議(案)、大会宣言(案)を含めて満場一致で可決、承認がされ、最後に杉原執行委員長の団結ガンバローで閉会となった。



小林オルガナイザー(右)を紹介する櫻井書記長

# 【2025年度 J A M 甲信役員体制】

2025年度は改選期ではないが一部交代となり、下表の通りとなった。

☆印：新任

役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)	役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)
執行委員長	全 体	杉原 孝一 (TDK甲府)	執行委員	山 梨	☆堀内 亮佑 (キッツ長坂)
副執行委員長 (地区協 議長)	山 梨 長 野 佐 久 中 信 上伊那 飯 田 諏訪北 諏訪南	櫻井 澄人 (キトー)	(地区協 事務局長)	長 野	青木 俊晴 (都筑製作所)
		木村 卓彦 (信濃電気製錬)	〃	佐 久	盛野 恵太 (シチズンマシナリー)
		岩崎 直一 (シチズンミヨタ)	〃	中 信	米山 渉 (カイジョー松本)
		☆竹田 亨 (HDS)	〃	上伊那	竹澤 政幸 (キッツ伊那)
		木下 政貴 (タカノ)	〃	飯 田	木下 達弘 (多摩川精機)
		松田 俊英 (シチズン飯田)	〃	諏訪北	赤羽 理 (エグロ)
		濱 章義 (TPR)	〃	諏訪南	吉田 淳一 (STG)
副執行委員長	女性枠	猪俣 安弘 (諏訪三社電機)	執行委員	上小連絡会	島滝 純 (松山)
		池田 明里 (シチズンミヨタ)	〃	女性枠	加藤 美保 (大和電機工業)
財政委員長	兼 務	☆濱 章義 (TPR)	会計監査	中 信	☆小澤 高士 (サンコー松本)
〃	〃	〃	〃	諏訪北	唐澤 誠 (大和電機工業)
書記長	専 従	櫻井由紀夫 (書記局)	特別執行委員	青女協議長	渡辺 龍伍 (シチズンミヨタ)
副書記長	専 従	佐野 亮一 (書記局)	〃	副議長	矢部はるな (シチズンマシナリー)
			〃	女性枠	小尾ゆう子 (キトー)
			〃	女性枠	☆小林 志保 (電算印刷)
			〃	連合長野	竹村 進 (多摩川精機)
			〃	長野労金	小倉 康男 (松山)
〃	〃	〃	参 与	〃	桜田 力 (南アルプス市議)

※特別執行委員・顧問・参与は選挙でなく執行委員長より委嘱

## 退任役員

役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)	役 職	選出枠	氏 名 (選出単組名)
副執行委員長 兼財政委員長	中 信	古畑 浩樹 (HDS)	執行委員	山 梨	野村 直 (キッツ長坂)
			特別執行委員	女性枠	川手 水保 (NTN長野)
			会計監査	中 信	石川 英明 (サンコー松本)

## ※ 2025年度の重点課題 ※ (概要・抜粋、☆：関連項目の新規追加)

### 変革・実践・飛躍

—郡山りょうを国会に送ろう！—

- 2025年・第27回参議院選挙における「郡山りょう」氏の必勝に向けた政策実現活動の強化
  - 第26回参議院選挙の総括を活かしたワンランクUPの活動を進めます。
- 地区協活動の充実と単組支援体制の強化
  - 地区協幹事会における課題研修と情報交換を更に進めます。
  - 「出席して参考になった」という活動を目指します。
- 教育学習活動の強化
 

単組役員のリリーダー育成を強化していきます。

  - 年間研修計画の実施による組合リーダーの育成
  - 単組課題に合わせた出前研修の継続実施

☆コロナ化により薄れた組合員とのコミュニケーションの回復並びに労働組合の基本である「職場討議」を継承するため、単組課題に合わせた出前研修の強化と年間研修計画の完全実施により、単組役員のリリーダー育成と単組の組織強化を図ります。
- 組織拡大
  - 組織の内外において仲間作りを強化します。

☆単組数・組合員数の減少が続いている実態を重く受け止め、5つの領域における組織拡大の目標達成に向けて、地区協と書記局が連携して年間活動計画を確実に実行していきます。

2024年8月29日～30日にかけて、JAM第26回定期大会が東京都・グランドプリンスホテル新高輪で開催され、JAM甲信からは執行委員長、副執行委員長、単組からの傍聴・書記局を含めて計15名が参加した。また、議長団の一員として池田副執行委員長が選出された。



議長退任の挨拶を行う池田副執行委員長  
(撮影 桧原勇太氏)

大会冒頭で挨拶に立った安河内会長は、「元日に発生した能登半島地震で亡くなられた皆様に衷心より哀悼の意を表したい。また、カンパ・ボランティアの取り組みに感謝を申し上げる。被災地の現状は、復旧・復興は遅々として進んでおらず、息の長い支援をお願いしたい」「今年の春闘において、極めて大きな成果を上げることが出来た。粘り強く交渉を継続した単組執行部の皆様のご努力と、それを職場から支え続けた組合員の皆様の団結力の勝利だと確信している。得られた利益をサプライチェーン全体に公正に配分し、全ての働く仲間の賃金を上げることが重要だが、実際には格差は開いてしまっ

た。一日も早く、他の先進国並みの賃金を確立しなければならない」「JAMは今年結成25周年を迎える。結成当時50万JAMを標榜していたが、現在は39万人まで減少してしまった。今すぐ組織化の行動を起こそう」「政策実現の取り組みについて、現場の声が『郡山りょう』を育て、日々進化を続けている。これから1年間、これまでのやり方をさらに強化しながら、SNSの活用など新しい選挙戦にも果敢に挑戦し、この選挙戦を勝ち抜こう」と述べた。

大会では2025年度活動方針（案）に関する件、2025年度予算案に関する件、政策実現活動に関する件、2025年度政策・制度要求（案）に関する件など、計9件の議案が提案され、いずれの議案も賛成多数で可決、承認がされた。



甲信から参加した皆さんで

### \*2025年度の活動方針の具体的な課題\*

- [1] ☆（補強）「郡山りょう」必勝に向けた取り組み（補強方針から内容を抜粋）
- ・「郡山りょう」のキャッチフレーズである“現場の声ではたらくを変えよう”の実現に向け、「本部」「地方」「加盟組合」「組合員各々」が取り組むべきことはすべて実行し、産業別労働組合JAMの総力を結集し、9年間空白となっていた国会におけるJAMの仲間の議席を奪還します。
  - ・効果的で重層的な声かけとあわせて、研修会や職場といった対話の場での「郡山りょう」を周知徹底します。
  - ・私たちの総行動により、組合員とその家族、さらに幅広い層の投票行動につなげ、「郡山りょう」個人名得票の積み上げをはかります。

（以下は項目のみ）

- [2] 職場に関する取り組み
- （1）雇用確保（2）賃金・労働条件（3）男女の均等待遇（4）安全衛生活動
- [3] 組織に関する取り組み
- （1）組織の強化（2）組織拡大（3）男女平等参画の推進（4）財政健全化（5）共済運動の推進（6）業種別部会の活動（7）大手労組会議の活動（8）国際労働運動の推進（9）教育・人材育成（10）青年活動（11）広報活動とICT活用の推進（12）大規模災害への対応（13）JAMシニアクラブ（14）組織変革プロジェクト
- [4] 社会に関する取り組み
- （1）「価値を認め合う社会へ」の実現（2）ものづくり基盤強化（3）国・自治体における経済・産業政策の推進（4）税制と安心できる社会保障制度（5）職場・組合員と政治をつなぐ取り組み（6）政治活動の強化（7）つながり支え合う社会との連帯活動（8）大災害発生などに対する取り組み

# 2025 年度政策実現活動

## 「郡山りょう」候補予定者の必勝に向けた取り組み強化

2025年7月に予定されている第27回参議院選挙における「郡山りょう」氏の必勝に向けた政策活動の強化として、2024年9月15日のJAM甲信第26回定期大会の第3号議案で「2024-2025政策実現活動推進計画・JAM甲信版Vol.3」（以下「郡山りょう推進計画vol.3」と略す）をご確認頂きました。

2025年7月まで残り1年を切りました。取り組みの強化を図るために、「郡山りょう推進計画vol.3」を確認頂くと共に、「9年振りにJAMの議席を奪還する」意志固めをしていきたいと思っております。

組合員の皆様には、より一層のご理解、ご協力、ご支援の程、宜しくお願い致します。

### 〈JAM甲信における当面の取り組み〉

ゾーン	具体的な内容	取り組み時期
Ⅱ. 学習ゾーン	「郡山りょう応援カード」配布前の政策実現活動に関する組合員学習会の開催	☆2024年7月に要請 展開中
Ⅲ. アクションゾーン	「郡山りょう応援カード」の全単組・支部、全組合員からの回収	☆2024年7月に要請 展開中 ☆最終集約は 2024年11月末
	「郡山りょうLINE公式アカウント」への全組合員登録	☆2024年9月より 順次要請
	政治意識アンケートの展開と全組合員からの回収	☆2024年10月より 順次要請 ☆最終集約は 2024年12月末
Ⅳ. 拡大定着ゾーン	組合員への支持要請	☆2025年1月～6月
	「信書作戦」の展開	☆2025年5月～6月

ご支援のほど、  
宜しく  
お願い致します！



## 2024年年末一時金・労働協約取り組み方針について

2024年年末一時金並びに労働協約の取り組みにおいて、以下にJAMとしての取り組み方針の概略を記しますのでそれぞれご確認ください。

※情勢や詳細については、「JAM甲信第26回定期大会の議案書・資料編」に記載されています。

### ■労働協約における最重点課題と重点課題

1. 最重点課題  
JAM労働時間指針に沿った労働時間への取り組み
2. 重点課題
  - ①高齢者雇用の取り組み
  - ②多様性に対応した包摂的な雇用環境の整備
  - ③安全で健康に働ける職場環境の整備
  - ④労働協約の債務条項及び企業の財務状況について
3. 要点検項目
  - ①賃金・労働条件の実態の把握と分析  
個別賃金要求準備、企業内最低賃金協定の点検
  - ②退職金・企業年金の保全状況の把握等について

### ■年末一時金の取り組み

1. 年間5ヶ月基準または半期2.5ヶ月基準
2. 最低到達基準：年間4ヶ月または半期2ヶ月

### ■取り組みの日程

1. 労働協約  
要求提出：10月03日（木）まで  
回答指定日：11月07日（木）まで
2. 年末一時金  
要求提出：10月17日（木）  
回答指定日：11月07日（木）